







開催地 高知会場  
4 班

| 見出し    | 地震で心配なこと、困ること                                      |                                  |   | 対 策                                    | 誰 が   |     |     | いつ |  |  |  |
|--------|--|----------------------------------|---|--|---|-----|-----|----|--|--|--|
|        | 自分   | 地域                               | 行政  |  | 今から   | その時 | 被災後 |    |  |  |  |
| 防災組織   | 隣の顔が見えない   | 一応、自主防災組織があるが、全員に認知されていないのではないか？ | 組織間の連携は市のどこまで可能か(有線、無線の集中場所)                  | 防災組織の大きさ(小学校区とか世帯数とか道路で区画していくとか)       | 自主防災の組織の大きさ(小学校区？町内会、区域・・・)線引き他地域との連絡<br>お助け人のリストが出来るの<br>日頃のつきあい<br>会社員に訓練に参加してもらうために日当を出す                   |     |     |    |  |  |  |
|        | 着手順位を如何に決めるのか<br>(水、飲料、救護、排泄、弱者、子どもお助け人リストなどの情報収集) |                                  |   |  |   |     |     |    |  |  |  |
| 建物     | 古い民家の倒壊  | 古い家が多いので倒壊により道路が塞がれる             | 液状化により建物が倒壊する                                 |  | ・補強<br>・家具の転倒防止<br>耐震診断、補強補助金を増やす   |     |     |    |  |  |  |
| 土砂災害   | 山間部の為、土砂災害が心配                                      |                                  |   |  | 危険地域の法面補強<br><br>軟弱地盤の強化  |     |     |    |  |  |  |
| 情報     | 津波がどこまで来るのか知りたい                                    | 家族の安否の確認                         | 家族の安否確認                                       | 通信手段の確保                                | 携帯の災害伝言ダイヤルの活用<br>各地区ごとの放送設備の設置<br>防災・消防・アマチュア無線の合同ロールコール<br>混乱し使用不能にならない情報伝達のシステムをつくる<br>ラジオ                 |     |     |    |  |  |  |
|        | 必要な情報の入手   | ダブリではありません                       |   |  |   |     |     |    |  |  |  |
| 水害     | 堤防の決壊、浸水   | 堤防決壊による水害孤立する                    | 沈下の恐れ   |  | 内水排水のためのポンプ場  |     |     |    |  |  |  |
| 弱者     | 独居の方の安否確認  | 弱者への対応<br>高齢者が取り残される             | 高齢者の避難が難しい                                    | 病人の避難が難しい                              | 民生委員の活用<br>(幼児、視聴覚障害、外人、要needのリスト)  |     |     |    |  |  |  |
|        | 老人の多さ  |                                  |   |  |   |     |     |    |  |  |  |
| 避難先ルート | どこに避難すれば一番安全なのかわからない                               | どこへ避難すればいいのか分からない                | 具体的な避難経路がわからない                                | 職場が市中心部の住民が多いので家に帰ってくるルートが水没している可能性が高い | 避難場所の明確な地図<br>ポスターなどによる避難場所の提示<br>もっと現実的な(建物の倒壊など)避難ルートを使った訓練   |     |     |    |  |  |  |
| 道路     | 家屋倒壊で道が塞がり避難が難しくなる                                 | 災害後の道路事情が特に不安                    | 道路の沈下   |  | 水没しない幹線道路の整備  |     |     |    |  |  |  |
| ライフライン | 食も含めたライフラインの確保                                     | ガスの確保                            | 飲み水の確保  | 特に夜間時では停電による不安                         | 配給ルートの明示(水、排泄、医療情報、衣料)<br>雨水の貯蓄(トイレなどへの利用)<br>公園 空き地の地面の下にトイレを作っておく<br>仮設トイレバックを集会所に備蓄<br>簡易トイレの普及<br>手動式の発電機 |     |     |    |  |  |  |
|        | 断水した時のトイレの対策                                       |                                  |   |  |   |     |     |    |  |  |  |
| 食料     | 当面の食料、水の確保   | 食料の確保(薬、排泄、医療)                   | 居住地域は水没しないと思うが(給給台ニュータウンの場合)、飲食物の補給ルートの確保が難しい |  | 地域ごとに備蓄倉庫の様なものを作る<br>地域で食料倉庫を増設する 食料の備蓄<br>スーパー等の利用 自分で買い貯める<br>スーパー、コンビニ等との協定<br>ペットボトル(飲み水)の備蓄 保存食の用意       |     |     |    |  |  |  |